

# 各地で春の大祭

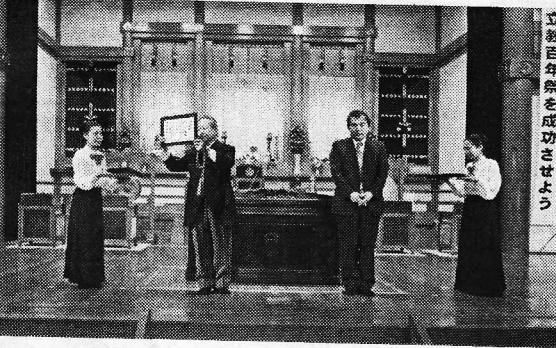
## 円応教

### 信者からの浄財 AMD Aに贈る

菅波代表、抱負述べ感謝

兵庫県丹波市の円応教  
(深田充啓教主)は4月  
8日午後零時30分から、  
本殿礼拝所で「春季大祭」  
を執り行った。

立教百年祭を成功させよう



深田教主が教団に感謝状を贈り、世界各地の活動や東日本大震災の復興支援活動について、継続支援の重要性や同じ立場・世代の人同士の交流の大切

「献上の儀が立教百年祭の成功を祈念して行われ、献花・献饌・献茶により、真殿を荘厳した。深田教主の主導師による「おつとめ」の後、教会長任命式や平成23年度の教勢努力による教会表彰に移り、各分野で貢献著しい教会の教会長に、深田教主が表彰状を授与した。

続いて、義援金贈呈が行われ、東日本大震災の発生直後から教団として、支援活動に取り組むと同時に、信者に呼びかけて集まった「被災地復興救援基金」から、深田教主がNPO法人AMD Aの菅波茂代表に贈呈した。

る活動への抱負と支援に対する感謝を述べた。

深田教主が「御親教」に立ち、教典64項の「日に日いく日の桜の心はお

さめなされて」で始まるの御霊、そのものが私深田千代子教祖のご遺文、ちの心の中に具わっていることを肝に銘じて、心をしっかりと持つこと、くの方々に喜びと幸せ、人間の心を素直に、真実この珠を通して導いて、を持って行じることの大切さを説いた。また、教最後に、「平成24年祖ゆかりの桜を親玉として、教団基本方針」と「立っている桜珠おうじゅ」百年祭スローガン」をの尊さに触れ、「教祖様列者全員で、奉唱した